

平成20年7月10日

発行:宮崎中学校区地域教育会議

議長:阿部雅朗

宮崎中学校区地域教育会議だより

第23号

～情報・意見交換・共有の場 定例会レポート～



宮崎中学校区地域教育会議は、今年度も新たなメンバーが加わりスタートしました。第1回定例会が6月30日(月)、宮崎中学校特別活動室にて開かれ、各委員会・予算・全体活動についての報告や話し合いのあと、情報・意見交換が行われました。



《構成メンバー》

住民委員、保護者委員、教職員委員、各町内会自治会、子供会、保護司、少年補導員、青少年指導員、主任児童委員、民生委員、児童委員、体育指導委員、学校長、PTA会長、子ども文化センター館長、青少年の家所長

←定例会の様子

上記のメンバーが**地域、学校、家庭**の代表として参加しています。



moeちゃん

【定例会よりトピックス】～高津区青少年指導員村田さんより～

★自転車のライト点検していますか？



- ☐ポイント1: ライトの点灯方法の確認
- ☐ポイント2: 電球は切れていないか？

大人と子ども
一緒に点検
しましょう！

♪**住民委員を募集しています**♪ 宮崎中学校区地域教育会議ではいつでもどなたでも年齢問わず募集しています。地域と子ども達のことについて一緒に考えてみませんか。

★問合せ先:宮崎中学校区地域教育会議事務局 梶ヶ谷小学校内 電話044-877-8621

宮崎中学校区地域教育会議ってなに？ 宮崎中学校区地域教育会議は、川崎市教育委員会と川崎市地域教育会議推進協議会の委託です。「市民が自らの責任として教育を行うための自主的・民主的組織」であり、非営利、非宗教、非政党を旨とする団体として、平成10年度に発足しました。各学校の保護者・教職員・地域の皆さんが参加し、地域の子育て、住民の生涯学習支援を目的とした活動をしています。

よろしくお願いします!

川崎市立宮崎小学校
校長 高尾 寛雄



日頃より、本校教育に対しまして、ご理解、ご支援を賜り心よりお礼と感謝を申し上げます。さて、私こと、この度、菊池 利光前校長の後任として、4月1日付けをもちまして久末小学校から赴任してきました高尾 寛雄と申します。どうぞよろしくお願い申し上げます。4月7日の入学式に1年生185名を迎え、全校児童1147名、36学級という大規模校です。また、創立135周年という歴史の古い学校です。宮崎小学校の子どもたちはとても明るく素直で、どこであつても気軽に声をかけてくれます。この素晴らしい子どもたちが「学校は楽しい!」と瞳を輝かせて元気に通える学校づくりに努力していきたいと思います。これからも地域の皆様方のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

生涯学習委員会

年に2回程地域の皆さんに、興味、関心のある事柄(地域での生涯学習への取り組みの紹介、教育現場の実態、問題点など)を取り上げ、講演を行い、大変好評を得ております。また皆さんに演題に対する御希望をいただき充実したものにしていきたいと思ひます。

生涯学習委員

持田正美・望月正武・太田勤一郎・
鈴木正美・吉田映子・壺岐由美子・
佐々木久仁子・富田晃由



地域教育委員会

年に一度の「子供会議」の開催や春のミニコンサートなどの企画を行っています。昨年度は趣向を変えて親子のコミュニケーションを図る場を提供したり地域住民がこの地域を好きになってもらえる様な企画運営を行っています。

地域教育委員

前田達彦・米山順子・福井雅香・
高品千鶴子・平澤久美・船山フミ・
増渕賢一・峰村文彦

今年度もよろしくお願いします。

地域教育会議 議長 阿部 雅朗



「大人が変われば子どもも変わる」というテーマは私たちがいろいろな角度から取り組んでいる課題です。私たちは子どもたちにとってどんな大人でしょうか？

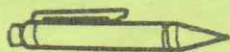
どんな大人になれるでしょうか？今年も11月に「第6回あったかまつり」を開催いたします。地域の大人と子どもたちが力を合わせて、心のかよう交流の場を作り上げる作業のなかで大人が子どもたちに示していけるものはなんでしょう。皆様の参加をお待ちしております。

～総会のもようから～

金山トンネルのトンネルアートが今年8月2日～4日まで梶ヶ谷小学校と宮崎中学校の生徒によって行われる事になりました。一昨年の梶ヶ谷トンネル殺人事件以来様々なご意見要望が出る中、地域住民の安全・防犯対策を目的として実施されるものです。テーマは「空」生徒達の自由な発想と明るいトンネル作りに作品の期待は高まっています。地域住民の方々のお手伝い、差し入れ大歓迎です！！

事務局

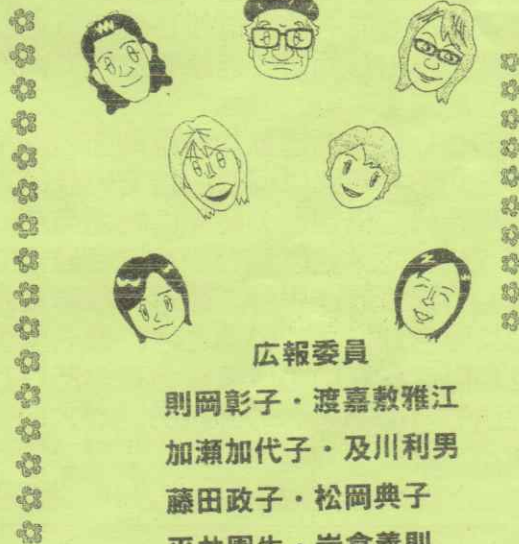
地域教育会議のメンバーに 総会、運営委員会、定例会のお知らせを送付し、会議の資料作成、進行、記録を行います。3つの委員会の活動を把握し協力します。全体で取り組む活動(あったかまつりなど)では率先して運営にあたります。秋には各小学校のイベントに模擬店参加をし、売り上げは活動資金にします。また、宮前区内の8つの中学校区が集まる地域教育会議にも代表として参加し、パイプ役を担います。



事務局
梶ヶ谷小学校

広報委員会

年3回広報誌、萌を発行します



広報委員

則岡彰子・渡嘉敷雅江
加瀬加代子・及川利男
藤田政子・松岡典子
平井園生・岩倉義則

★コラム★

「秋葉原事件から学ぶこと」
—母と子のふれあいの大切さ—

JR秋葉原駅に近い所で、人で賑う歩行者天国の公道へトラックで突込み、多くの人を跳ね、運転士の男は車を降りて、両刀のナイフを持ち歩き次々と人を刺し殺し多数の人の命を奪った大事件が6月8日に発生、犯人は25才の男であった。気狂のような行為を聞き、中学時代は成績は良かったとのこと、ただ驚くばかりで腹がたつ。日本社会の大きな欠点がこの若者に現れた行為だと思う。相手は誰でもよい、多くの人を殺したかったという。きわめて野蛮な低民族人ではないかと思ってしまう。犯人が住む家庭生活はどうなっているのか、両親、殊に母親との関係はどうだったのか、疑問は大きい。

誰でもよいから多くの人を殺したかった。と本人の言。これを聞いて青少年の心情の悪さを知る。子にとって母親との接触が一番大切である時に、母親はどのような態度で子に接していたのか。おそらく親子の間は大変冷たい関係であったと思う。新聞では男の中学時代は、まじめで成績が良く、職業人になっても普段はまじめだったが、突然怒り出し周辺に迷惑をかけていたようだ。

こうした男の言動から精神面の異常さを知るが新聞は何もふれていない。少年時代に母親との関係に問題点があったのに、親は気づかずに今日まで来てしまったと思う。最近の日本社会で共働きが増えているとき、最も重視せねばならないのは家庭教育のあり方で温もりのある心のふれあいが大切である。

(元中学校長 及川 利男)

♪地域のインフォメーション♪
～夏から秋のイベント～

♪各町会・町内会盆踊り

★梶ヶ谷全町内会	7/25(金)26(土)
★馬絹町内会	8/2(土)3(日)
★大塚町内会	7/26(土)27(日)
★東有馬町会	7/25(金)26(土)
★有馬町会	8/1(金)2(土)

♪学校・町内会イベント

★梶ヶ谷小	
にこにこフリマ	11/8(土)
★西梶ヶ谷小	
グリーンカーニバル	10/26(日)
★宮崎小	
ふれあいまつり	11/1(土)
★大塚町会	
スポーツ健康フェスティバル	11/1(土)

宮崎中学校フェスティバル
&地域教育会議あったかまつり
11月2日(土)



編集後記:

今年度は、読みやすさ、わかりやすさ、親しみやすさ、やさしい言葉で皆さんにお届けしたいと思っています。委員一同力を合わせ、地域に根ざした紙面作りをしてまいります。

(則岡)

企画・構成:



宮崎中学校区地域教育会議
広報委員会

則岡彰子・加瀬加代子・及川利男・藤田政子
渡嘉敷雅江・松岡典子・平井園生・岩倉義則

協力:西梶ヶ谷小学校PTA

★ご意見・ご感想をお寄せ下さい。